

六本木三丁目児童遊園周辺地区 整備検討会ニュース

第7号

令和4年12月発行 港区

師走の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より港区のまちづくりへご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

港区では「六本木三丁目児童遊園周辺地区」の治安の改善を図るとともに、安全・安心な環境整備と新たなにぎわいの創出を目指し、検討を行っています。

そこで、去る12月8日に地元の皆様にご意見を伺う「六本木三丁目児童遊園周辺地区整備検討会（以下、検討会）」の第4回を開催しました。

本紙では、検討会のご報告と当日いただいた主なご意見をご紹介します。

今後も検討会ニュースにて、整備に向けた検討状況をご報告して参りますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

1 第4回検討会開催のご報告

第4回検討会は、「維持管理と施設整備について（その4）」というテーマを基に、①地区全体の整備（ハード面）と②維持管理（ソフト面）についてご議論いただきました。

当日はたくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。裏面にて、当日いただいた主なご意見をご紹介します。

次回検討会においても、今回いただいたご意見を踏まえて、ソフト・ハードの両輪で検討を進めていきたいと考えておりますので、引き続き、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

開催概要

- 日時：令和4年12月8日（木）
18：30～20：10
- 場所：麻布区民協働スペース
- 出席者：8名（オブザーバー2名）



当日の様子

公衆トイレの夜間閉鎖実験



夜間閉鎖の様子

- ・公衆トイレの夜間閉鎖実験を実施いたしました。
（期間：11月1日（火）～30日（水）/時間：21時～9時（計12時間））
- ・実験開始の2週間程前より、港区の連絡先を記載した本実験に関するお知らせを、公衆トイレの入口に提示しておりましたが、**港区への苦情のご連絡等は、特にございませんでした。**
- ・また、本実験の実施期間中、**現地周辺で特に変わった状況は確認できませんでした。**

2 当日の主なご意見



1. ハード面（メインストリートの再整備）について

- 普段からメインストリートを利用している人達が使いづらい道路にすることは、避けるべきである。
- メインストリートで商売をしている方々が、再整備によって著しい不便を感じないようにしてもらいたい。
- 沿道で店舗等を営業している人達がいるため、荷捌き車両を締め出すような印象を与えてはならず、**荷捌き車両や歩行者等が共存できるような空間**を考える必要がある。沿道の方々に若干の不便をお願いすることは止むを得ないが、あまりに不便を強いることになってはいけない。
- 特に朝の時間帯に荷捌きが多く見られるため、**停車用スペースは絶対に必要**である。
- 沿道の方々を考慮すると、**停車用スペースは当然必要**であり、**道路の再整備を利活用の観点から考え過ぎてもいけない**と思う。当該道路で盆踊り等のイベントを行うにしても、車両を通行止めにするればよい。
- 停車用スペースは、デッドスペースが生まれて綺麗な空間にならないため好きではないが、歩車道間の段差が小さくなるのであれば、停車用スペースを設けてもデッドスペースとはならないかもしれない。なお、**停車用スペースは左右対称に配置するのではなく、片方をずらす**といったことも考えられる。
- 沿道には飲食店が多く、**停車用スペースが無ければ道路が混雑する可能性**があるため、「**第3案：停車用スペース設置案**」が**最も良い**と考える。しかし、**停車用スペースの位置や幅員構成等は検討の余地がある**と考える。
- **停車用スペースは必要**だと考えており、「**案3：停車用スペース設置案**」をベースとして、**停車用スペースの位置を動かす**ことで、デザイン的に「**案2：屈曲案**」に近づけるといいう考え方もあるのではないかと。
- イベント時にはボラードが収納できるよう、**ボラードは上下可動式**にすることも考えられる。
- 歩車道一体で広くイベント会場等として利用できるような空間とするため、車両の乗入れ防止のために、**ボラード以外に何か良いものがあれば提案**いただきたい。
- **単にボラードを設置するのは味気ない**ので、例えば街路樹をある程度の間隔で植えて、**街路樹の下部にボラードに代わる鉄製の部材を取り付ける**といったことも考えられるのではないかと。
- 街路灯の本数を減らした上で、**明るさが不足する箇所のボラードは、照明内蔵式**のものにしてはどうか。
- 街路樹を植えると、そこにゴミを出されることや、落ち葉の清掃に対する懸念があるため、**街路樹を植えずに景観が良くなるように上手くデザイン**してもらいたい。
- 街路樹は植えずに、**街路灯にフラワーバスケットを掛ける**と、道路が明るくなり綺麗である。
- **水害等の発生時を考慮すると、歩車道間の段差はある程度の高さを確保**した方が良いのではないかと。
- **歩車道間の段差をできるだけ小さくするために、路面に雨水を流す溝**を設ければ良い。
- 車道沿いへの滞留空間の整備は素晴らしい。このような空間にして**イベント時も上手く活用できれば良い**。
- **六本木第3 暫定自転車駐車場**は、あくまでも本設の自転車駐車場が整備されるまでの“暫定”という位置付けであれば、**廃止しても良い**のではないかと。
- 木材の活用を検討しているとのことであるが、**他自治体の間伐材などの国産の木材を活用**してはどうか。

2. ソフト面（公衆トイレ夜間閉鎖実験）について

- 新型コロナウイルス感染症の影響等により、夜間の営業が賑わっていたかどうかという点を考慮する必要があり、**夜間閉鎖してもよいかどうかを判断するには、まだデータが不十分**ではないかと。
- 公衆トイレは、安全・安心のための維持管理を行うことを前提に、**誰もが利用できるように24時間開放することが望ましい**と考えるが、**地下鉄駅の公衆トイレのような安全対策は考えられないのか**。
- 周辺を注意深く確認していたが、立小便されているような状況は見受けられなかった。多少の問題は起きているかもしれないが、**見える範囲では大きな問題は無かった**。
- **夜間に公衆トイレが開いていなくても、問題ない**と思う。立小便する人はどこでもするため、六本木三丁目公衆便所が閉鎖されているかどうかは関係ない。
- 1ヶ月間の夜間閉鎖実験中に**何も起こらなかったのは良かったことであり、大切な結果**である。

◎ご質問・ご意見等、随時受付けておりますので、下記までご連絡ください。

連絡先：港区麻布地区総合支所 まちづくり課 まちづくり係（担当：山口・渡辺・近藤）

[TEL] 03-5114-8815 [FAX] 03-3585-3276